

日本福祉大学中央福祉専門学校・介護福祉士科 卒業の認定に関する方針

本校の介護福祉士科では「求められる介護福祉士像」に向けて、以下の資質・能力を備えることを目標に、教育に取り組んでいます。

- (1) 尊厳と自立を支えるケアを実践する
- (2) 専門職として自律的に介護過程の展開ができる
- (3) 身体的な支援だけでなく、心理的・社会的支援も展開できる
- (4) 介護ニーズの複雑化・多様化・高度化に対応し、本人や家族等のエンパワメントを重視した支援ができる
- (5) QOL(生活の質)の維持・向上の視点を持って、介護予防からリハビリテーション、看取りまで、対象者の状態の変化に対応できる
- (6) 地域の中で、施設・在宅にかかわらず、本人が望む生活を支えることができる
- (7) 関連領域の基本的なことを理解し、多職種協働によるチームケアを実践する
- (8) 本人や家族、チームに対するコミュニケーションや的確な記録・記述ができる
- (9) 制度を理解しつつ、地域や社会のニーズに対応できる
- (10) 介護職の中で中核的な役割を担う

専門職として上記の力量を備え、視座を持つことを目標とし、これらの学びを達成した学生について卒業を認定します。